

# 大阪府市場だより

第322号

(平成30年12月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会  
茨木市宮島1-1-1  
TEL (072) 636-3698  
FAX (072) 636-3699  
MAIL: 36983699@  
iaa.itkeeper.ne.jp



絵：「ふぐ」磯野 由美（磯丸運送）

## メイン道路上での不法占有について審議

### 定例常駐代表者会議

定例常駐代表者会議が12月20日8時20分から、管理棟4階会議室で開催された。山口議長（大阪府中央卸売市場管理センター（株）社長）が挨拶の後、議事を進められた。

議題1、開場40周年記念市場まつり開催結果として経費決算状況等について実行委員会の細田委員長から報告があり、「市場関係者の皆様のご尽力により、府民の皆さんに府市場について理解を深めていただくとともに、来場者に安全で新鮮な生鮮食料品をご提供させていただき、また楽しんでいただくという当初の目的を達成できました」とお礼を述べられ、報告通り承認された。

議題2、府の余田次長から次の項目について報告があった。①新天皇の即位に伴う来年の祝日について、12月8日に特別法が成立し、4月、10月（臨時開場日）、5月1日（条例上の休日）5月2日（臨時開場日）、10月22日（条例上の休日）、10月23日（開場日）に変更になる。②平成30年度4～11月分の直接集荷販売額（速報値）が約68億8千万円で、前年比較では金額ベースで約0.2億円、0.3%増。同期の市場全体取扱高は金額ベースで約18億円、3.3%減であった。③市場法改正に伴う意見交換会はあと2社を残すのみとなった。④卸売会社に対する検査は水産2社に対して1月と2月に実施。⑤市場運営取引業務協議会は3月14日開催予定。⑥12月府議会で万博を控え府市連携した中央卸売市場の魅力向上について取り組んではとの質問に対し、知事が前向きに取り組むたいとの答弁があったとの紹介があった。

議題3、管理センターの宮前統括から、2ページのとり報告、提案があった。山口議長からごみの状況を聞かれたが、宮前統括はやや減少傾向にあると答えられた。三木北果社長からメイン道路上での不法占有問題に関して、事故の懸念、苦情の続発もあり、積み込み場所の確保を考える必要があるとの提案があった。酒井大果支社長から、立駐下を時間を決めて使わせてはとの提案があったが、永富青果組合副理事長は7時以降なら時間調整すれば可能だが組合に持ち帰りたいと述べられ、山口議長は青果組合で使われているので調整をお願いしたいと述べられた。

宮前統括から事故防止のためゼブラゾーン周囲にボストコーンを設置することが安全部会で決定されているので年明けに設置することを報告された。

議題4、部会報告で、11月の計量器検査結果について板東計量部会長から報告があった。安全部会の開催結果について事務局から報告があった。

議題5、その他①年賀交歓会の開催案が示され、了承された。②茨木恵美須神社行事について、1月8日奉納、1月11日10時宝恵籠巡行について紹介があった。

なお、2月の会議は2月22日の開催に決まった。



# 府市場活性化事業

大阪府中央卸売市場では、生鮮食料品の消費拡大を図るため、場内事業者、大学や産地と連携し、大阪産(もん)をはじめとする農産物のPRや食育等の事業を実施している。

## ◆大阪成蹊短期大学が道県JAと連携してレシピコンテストを実施!

10月22日に、同大学調理製菓学科1回生59名の学生が、北海道産の「じゃがいも、にんじん、玉ねぎ」、岐阜県産の「ほうれん草」、大分県産の「小葱、ピーマン」を材料に自ら考案したアイデア丼を調理し、審査が行われた。どの丼もアイデアたっぷりに調理され優秀つけがたく、審査に苦慮されたが、食材ごとに2作品が最優秀賞、優秀賞に選定された。



また、10月31日に、同学科2回生33名の学生が、佐賀県産の「きゅうり」、「蓮根」を材料に自ら考案したレシピにより調理し、審査が行われた。食材ごとに5作品が最優秀賞などに、また別途1作品が市場賞に選定された。

受賞者は、産地の方々に評価され、素晴らしい経験になったと感激していた。レシピは各産地に提供され、販促活動に活用される。協力：ホクレン農業協同組合連合会、J A全農岐阜、J Aささ、J A全農おおい、佐賀県、大分県、大阪北部中央青果(株)、大果大阪青果(株)北部支社、府市場管理センター(株)

## ◆梅花女子大学×松坂屋高槻店、「魚くみ」×府中央市場「アプリ」を使ったメニュー開発プロジェクト

10月23日、同大学食文化学部管理栄養学科で、松坂屋高槻店「魚くみ」より2名の講師を招き、鯛の捌き方の解説の後、学生たちが考えた17種類のメニューを試作し、講師による審査が行われた。



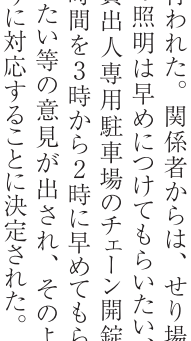
学生40人が参加し、普段見ることができない大きな鯛を前に、包丁が入るたびに学生からは歓声が上がった。メニューは1種類に絞られ、12月1日に松坂屋高槻店で開催された「長崎・熊本フェア」の「魚くみ」店頭で試食提供を実施し、好評を博した。協力：(株)魚組、松坂屋高槻店、府市場管理センター(株)

## ◆追手門学院大学学生が岐阜産青果物をPR

11月27、28日、同大学で、岐阜県産青果物PRキャンペーンを展開した。同大学の学生が企画・運営し、「いつもの定食に+(プラス)!!」をテーマに、J A全農岐阜から提供された「やまご(稚茸)」と「飛騨ほうれん草」を使用した吸い物と小鉢料理5種類を考案し、学生食堂で販売した。このキャンペーンは、昨年に

## 年末対策を協議 府水産物卸協同組合

同組合(榎本昭弘理事長)では、12月6日に、役員、卸・運送各社や管理センター、大阪府、警備・清掃部門責任者などが出席し、「業務・施設年末対策協議会」を同組合会議室で開催した。榎本理事長の挨拶後、理事が進められ、管理センターの江本氏が「年末の防犯・車両規制・火災予防・ごみ(清掃)」対策のほか、買出人専用駐車場・買出人専用駐車場・買出人専用駐車場・買出人専用駐車場について説明を行った後、各項目について協議が行われた。関係者からは、せり場の照明は早めにつけてもらいたい、買出人専用駐車場のチェーン開錠時間を3時から2時に早めてもらいたい等の意見が出され、そのように対応することに決定された。



も実施され、産地からの要請で2度目の開催となった。協力：J A全農岐阜、大阪北部中央青果(株)、府市場管理センター(株)



## 管理センターからの報告(要旨)

宮前統括から次の項目について報告があった。(税抜)

- 活性化事業 □ ハード整備(重点事業) ◆ コールドチェーン化に向けての具体的取り組み(水産物卸売場)▽設計、基本計画策定に向けてコンサル(日建設)への業務委託。12/26最終打ち合わせ。成果品基本計画書、整備コスト、行程等) ↓ 関係者間(水産分科会)後日調整で協議 ↓ 実施設計に着手? ◆ 2階プラットフォーム大屋根拡張工事。年明け着工、年度内完成予定 □ ソフト事業(実施報告) ◆ 京阪百貨店守口店(11/24)▽鳥取県フェア×北果、青果仲卸林田商店×「せりちゃん」※ J A全農鳥取、北果、青果仲卸林田商店 ◆ 追手門学院大学(大)学連携事業)▽学食「まいとおおきに追手門食堂」にて(岐阜県産青果物PRキャンペーン)実施。やまご(しいたけ)、ほうれん草のPR(11/27、28)※ J A全農岐阜、北果 ◆ 松坂屋高槻店(11/28)▽長崎ゆめのかイチョギヤクタター「ゆめずきんちゃん」×市場「せりちゃん」11/30、12/1 ※ J A全農長崎、J A熊本経済連、各県事務所、北果 ◆ 視察▽インドネシア商業省視察5名、12/6▽韓国(株)全州青果物視察13名、12/11
- 修繕事業 □ 通常分 ◆ 178件、約43百万円 □ 地震被害緊急対策分 ◆ 38件、約9百万円 □ 台風21号被害緊急対策分 ◆ 15件、約12百万円 \* プラントホーム大根根修繕工事(12/6竣工)
- 大阪府依頼事業 □ 1件(青果低圧幹線設備改修)「工期」8/23 ~ 3/31 □ 10/24 水産A小通り上部工事中 □ 11/7 青果C棟大通り上部青果C仲卸店舗上部工事中「事業費」97百万円

■ 地震被害復旧工事に伴う大阪府依頼工事 □ 2件、約35百万円 ◆ 水産仲卸棟給水設備緊急復旧工事(9/29竣工) ◆ 水産棟青果棟屋上コア周防水緊急復旧工事(10/31竣工)

■ ごみ関連 □ 不法投棄の防止 ◆ 不法投棄件数(11月、14件)▽対策開始前に比べ約90%減少 □ 青果くず排出状況(○は対前年比) ◆ 11月単月実績 ○ 排出量 約74トン(+0.6トン)、+0.8%) ○ 処理費用約14十万円(+12千円、+0.8%) ◆ 11月までの累計 ○ 排出量 約621トン(▲約34トン、▲約5%) ○ 処理費用(税込)約12百万円(▲約67万円▲5.2%)

■ カラス対策 □ カラス捕獲数9回43羽▽次回未定▽魚あらしみ置場遠隔開閉装置の設置検討

■ 禁煙対策 □ 通告書交付(違反者)57件(人)▽警告書交付(再違反者)4件(人) ↓ 更に再犯があれば入場禁止の行政処分

■ メイン道路の不法占有問題(事故の懸念、苦情続発) ↓ 利用秩序の維持・回復(道路標示の引き直し、ポストコインの設置等)

■ その他 □ 市場施設等整備構想検討委員会青果分科会の開催▽12/20、常駐会議終了後開催

## 卸会社等の計量器検査を終了

府市場協会が実施する計量器定期検査が同協会所属の信岡昭洋計量士によって、11月27日に4卸売会社、北冷などの最大300kgを量れる計量器など51台を検査し、すべて合格した。なお年明けには、日程調整の上、2月に食品流通センター、3月に青果卸売協同組合店舗等の計量器に対して検査を実施する予定。

### 第一回市場施設等整備構想策定 検討委員会が開催される

同委員会(幹事長宮前茂府市場管理センター統括)は、11月26日に管理棟7階大会議室で第1回目の会議を開催した。山口常駐代表者会議議長(府市場管理センター社長)が「これは大変なプロジェクトで、10年先の話を只今からスタートいたします。近くの奈良市場など他の市場に比べて本市場は遅いぐらいだし、つかりと皆さんのご意見を踏まえながら着実に前に進めたい。」と挨拶。オプザーバーの船木場長は「当市場も40年たつていろんなところが老朽化していることや流通も大きく変化している。また他市場の動きなどがある中で、府市場をどういう方向で整備を進めていくのか考えるべき時に来ており、非常にいい時期に検討会を開催していただいた。この検討会では現場の皆さんが普段感じておられる意見を述べていただき、よりよい整備構想を策定いただきたいと思います。と考えております。」と挨拶された。宮前幹事長から課題取り組みについて「府の行政計画として反映していただくよう働きかけたいが、10年、



15年のスパンで、短期・中期・長期で考えることが必要であるが、今時点で知恵を集めて挑戦していかないと前に進まない。開設者も良き理解をいただき心強い限りです」との説明があり、議題に沿って、府市場の現状と課題、他市場における市場施設整備状況等について説明があった。意見交換では、委員から物流を制するものが商流を制するので、新しい考え方により京阪神で一番魅力ある拠点となる市場を考えてもらいたいといった意見や、期間や優先順位を先に協議してはといった意見が述べられた。宮前幹事長は、全体のタイムテーブルは現時点では示さないが、今後の計画づくりにあつての市場整備に盛り込むべきものを示すというところで進めたい」と述べられた。また、委員から、大きいビジョンは1年で作成し、各論はコンサルを入れて何年かやらないと進まないのではとの意見があり、協議の結果、当面方向性は1年以内の決定を目指すことになった。

分科会について、青果と水産の分科会を設置する設置要綱を決定した。

場内事故等発生状況

区分		29年 4月から 11月	30年 4月から 11月
事故	人身損計	1	9
	火災	39	35
	小傷	40	44
事件	災害	3	1
	その他	12	18
	小計	15	20
盗難	商品	2	1
	金銭	1	1
	その他	0	0
救護者	急病	3	2
	負傷	4	8
	その他	8	9
	小計	0	0
合計		70	83

(管理センター調べ)

年末年始にあつて、市場内の業務を安全かつ円滑に推進するため、市場協会安全部会(部会長東野達雄府青果卸売協同組合理事長)が、12月10日に、大阪府、警備・清掃担当者の出席のもと、市場協会会議室で開催された。



東野部会長の挨拶の後、市場管理センターから通常業務に加えて行う年末年始対策(案)が示され、原案通り決定された。①盗難防止の巡回警備の強化(12月24日、30日)②ごみ集積所の12/31/1/4の取扱い③12/31/1/4すべてのごみ集積所は通常

### 衛検査だより

### HACCPの導入ってどうやるの?(その4)

#### 食品衛生検査所

前回の「一般衛生管理」がしっかりと行えるようになれば、HACCP導入の準備ができたこととなります。今回は、HACCPによる衛生管理をどのように導入するかについて説明します。

まずは、施設の作業工程を簡条書きにします。(以下工程表)例えば、魚介類販売業(加工なし)では「仕入」「保管」「陳列」「販売(出荷)」となります。取扱う商品を「カツオ」「鮮魚」と想定すると、この商品に対して「細菌性食中毒」「ヒスタミン食中毒」が起らないような管理が必要となります。これらの食中毒が起

る要因がどの工程に潜んでいるかを工程表に書き込みます。これを「危害分析」といいます。この場合「仕入」「保管」「陳列」の工程での温度不備が原因となります。次に各工程での対策を設定します。「仕入」では仕入伝票や仕入時の状態確認や品温測定を行い安全な商品を入れます。次に「保管」「陳列」では、商品を汚染しないように取扱、氷などの活用により、品温を常に10℃以下に保つように入ります。ここで注目してほしいのが、「常に10℃以下に保つ」です。これがきちんと行われていることを販売(出荷)先に示す

### 年末年始対策を決定

### 市場協会・安全部会

通り(3:00開く17:00閉)○1/1水産A(3:00開く17:00閉)その他は全日閉鎖○1/2:1/3水産A(3:00開く17:00閉)青果A、D(5:00開く13:00閉)その他は全日閉鎖。

ことが重要になってきます。そのためには、保管冷蔵庫の温度や陳列台の温度の記録を予め決められた頻度で書類に残し、常に10℃以下であったことを「見える化」します。この管理の手法が「HACCP」の考え方に沿ったことを「見える化」します。この場合「保管」と「陳列」をHACCPで管理していることとなります。どの工程をHACCPで管理するかは、扱う原材料および製品の性質や施設の構造によつて異なります。中には、すべての工程を「一般衛生管理」の運用で管理が可能な施設もあります。但し、その場合でも記録はしっかりと残してください。また、自社施設の「危害分析」がよくわからないなどお困りでしたら、食品衛生検査所にご相談下さい。

次に、場内事故等発生状況の説明が管理センターからあり、交通事故による人身事故が昨年の1件に対し9件発生するなど昨年の40件から44件に増加していることが報告された。これらに対して、部会として早急な対応が必要とされ、特にその原因としてフォークリフトやターレットに運転中の携帯電話による事故が多いので、事務局に対して注意喚起文書を出すよう指示があった。管理センターの宮前統括から、3項目について課題が示された①メイン道路上での荷捌き行為に対して、再三苦情があり、その都度ドライバーに注意しているが是正

### 茨木市社会福祉協議会へ寄贈 MTMの会

府青果卸売協同組合青年会(MTMの会)では、12月20日、社会福祉法人茨木市社会福祉協議会へ恒例の寄贈を行った。



平成19年からスタートし、12回目となる年末恒例のクリスマスプレゼントとして、今年はいかんとリンゴを10kg各10ヶース、甘藷を5kg、20ヶース寄贈。同協議会では、早速市内の児童養護施設3か所と障害者支援施設1か所に提供する。施設では、クリスマス会や年末年始のイベントの際に活用し、入所者に喜ばれ感謝されている。

### 「とくしま海部水産物品質 確立対策協議会」メンバーと 府市場関係者が意見交換会

同協議会のメンバー11名(会長竹元晴茂、副会長東海漁協組合長のほか徳島県と美波町等の担当者)が市場視察と府市場関係者との意見交換会のため11月27日に来場された。

同協議会では、産地強化のため統一した規格基準を設け、「海部の魚」としてブランド化の取り組みを進めており、市場での評価、他産地の先進事例、小売店舗における販売方法や消費者の動向を視察し、関係者との意見交換を行っているもので、徳島県

### 恒例の献血を実施！ 青仲組合

府青果卸売協同組合(東野達雄理事長)では、毎年2回恒例として献血を実施しており、秋の献血を11月16日の10時30分から15時まで、大果の協力により同社のせり場で実施し、46人の方が協力した。日赤では、献血者が減少する中で、若い方も含めての多数の方の協力に感謝されていた。今回は、来年4月12日に予定している。



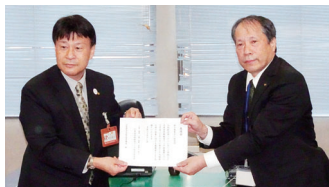
大阪本部の主唱により、府市場管理センター(株)の協力により実施された。当日は、市場の水産セリ場、仲卸棟を見学した後、府市場の船木場、(株)うおいち北部支社鮮魚部川辺課長、(株)大水北部支社鮮魚部小野課長、(株)魚組の勝岡社長、管理センターの宮前統括が出席し、販売方法や販売拡大につながる手法など様々な角度から熱のこもった意見交換が行われた。

(株)魚組の勝岡社長は、徳島県の現場に出向き販売拡大に向けてどういったコラボが展開できるのかについて模索したいと述べられていた。一行は、午後から松坂屋高槻店の鮮魚売場と惣菜売場を視察し、販売員から売れ筋などの生の声を聞くとともに、活魚の販売現場を視察した。



### 6県合同桃販売収益金を 府市場に対して寄贈

桃の生産量上位6県の岡山・和歌山・長野・山梨・福島・山形の各県人会メンバーは、6県の桃1玉ずつ計6玉を二箱に詰め、桃を食べ比べてもらうとうと合同販促を、今年8月1・2日の両日、大阪駅前第一ビルの特設コーナーで行った。収益金は義援金として寄贈することにしておられたが、今回その収益金の一部を、大阪府北部地震で被災した当市場に対して贈呈があった。



贈呈式は12月13日に行われ、6県合同桃販売フェア実行委員会幹事長の梶谷隆行岡山県大阪事務所長が来場された。市場長室において、梶谷所長は、「日ごろの多大な取扱には感謝している。災害に屈しない大阪府市場の今後の発展を期待したい」と述べられた後、義援金5万381円を船木場長に贈呈された。船木場長は「いただいた寄附については、有意なことに使わせていただきたい」とお礼を述べられた。

### 1月の協会行事に参加者募集

- 1月17日(木)13時~14時管理棟4階「安全運転講習会」(茨木警察署)
- 1月25日(金)11時~12時管理棟7階「消費税軽減税率と支援策」説明会(茨木税務署・日本政策金融公庫)

### 守口門真商工会議所 による市場見学会

同商工会議所では、「身近にありながら行ったことがない、あまり知らない大阪をより知ろう!」との企画第二弾で、卸売市場の見学を通じて食品流通の現場を知るとともに、向かいにある「こだわり食材市場」で年末のお買い物イベントを実施した。当日は30名の方が参加し、9時から11時ごろまでの時間、市場と加工団地食材売場を見学。まずは市場の広さに、冷蔵庫ではその冷たさに、そして新鮮な魚に、果物に驚きの声をあげておられた。



### 新着図書案内

- ※下町ロケットヤタガラス 池井戸潤著 小学館
- ※希望荘 宮部みゆき著 文春文庫
- ※同期 今野敏著 講談社文庫
- ※欠落 今野敏著 講談社文庫

### 恵美須神社(茨木神社)

十日戎祭奉納(1月8日)  
青果組合  
府市場管理センター  
宝恵籠市場内練行  
1月11日10時 管理棟前から

### 「また来たい」が94.2% 府市場まつりアンケート結果

大阪府中央卸売市場及び同管理センター(株)では、11月11日に開催された開場40周年記念市場まつり来場者へのアンケート結果を取りまとめた。(多い順)

- アンケート回答者数573人(配布枚数573回収率100%)
- 性別 男224人39.1%女349人60.9%
- 年齢19才以下157人(27.4%)40才台150人(26.2%)60才台以上108人(18.8%)
- 住所 茨木市208人(36.3%)高槻市63人(11.0%)大阪市45人(7.9%)、摂津市40人(7.0%)
- 今までの参加回数 1回308人(53.8%)2回93人(16.2%)3回74人(12.9%)
- 情報入手手段 チラシ151人(26.4%)知人に127人(22.2%)市町広報125人(21.8%)
- イベントに参加よかったこと(複数回答) 野菜果物・魚卸売385人(67.2%)スピードくじ182人(31.8%)マグロ解体・即売153人(26.7%)加工食品試食販売133人(23.2%)
- 今後の参加意思 来たい540人(94.2%)わからない27人(4.7%)来ない5人(0.9%)

卸売業種名	種類	数量(トン)	前年比%	金額(千円)		
				金額	前年比%	
青果	野菜	10,782	105.1	2,072,974	86.5	
	果実	5,304	91.5	1,367,829	97.3	
	小計	16,086	100.2	3,440,802	90.5	
水産物	生鮮水産物	1,792	89.4	1,643,364	96.1	
	冷凍水産物	266	98.3	325,904	90.8	
	加工水産物	933	91.9	1,083,364	95.4	
	冷凍食品	370	91.7	191,367	97.4	
	小計	3,360	91.0	3,243,999	95.4	
卸売業者計		19,446	98.5	6,684,801	92.8	
開場日数		11月	平成30年	21日	29年	22日